



工事
概要

工事延長 L=173.3m
掘削工 V=2,400m³
擁壁工 L=369.0m
排水構造物工 L=353.1m
ボックスカルバート工 L=11.6m

表彰区分	所長等表彰	事務所名	県央県土整備事務所		工事名	(一)和江港大田市停車場線(長久工区)交通安全補助工事 第7期		
部門	土木部門	工種	道路	受注者名	株式会社 堀工務店	主任技術者	堀 太輔	



工事
概要

工事延長 $L = 47.0 \text{ m}$
落石防止網工 $A = 470 \text{ m}^2$

表彰区分	所長等表彰	事務所名	県央県土整備事務所		工事名	(主)温泉津川本線(福光2工区)土砂災害補助(災害防除)工事		
部門	土木部門	工種	道路	受注者名	石見銀山 建設株式会社	主任技術者	中山 主税	



工事概要	排水路工 一式
	掘削 V=4,900m ³
	盛土 V=1,080m ³
	矢板護岸 L=135m
	砕石かご L=273m
	柱状改良 N=636本
	橋梁工 一式
	橋台工 N=2基

表彰区分	所長等表彰	事務所名	県央県土整備事務所	工事名	鳥越地区 排水路(その1)工事		
部門	農林水産部門	工種	農業土木	受注者名	株式会社 山崎組	監理技術者	谷本 義弘



工事 概要	工事延長	L = 140.0 m
	排水路工	L = 140.0 m

表彰区分	所長等表彰	事務所名	県央県土整備事務所	工事名	土江地区 排水路(その4)工事		
部門	農林水産部門	工種	農業土木	受注者名	株式会社 堀工務店	主任技術者	島林 初巳



工事
概要

山腹工 A=0.06ha
 吹付法枠工 A=331.4m²(法枠長 L=402.1m)
 水路工 L=48.7m

表彰区分	所長等表彰	事務所名	県央県土整備事務所	工事名	令和6年度(補正) 復旧治山事業 中村地区2工区 山腹工事			
部門	農林水産部門	工種	森林土木	受注者名	石見銀山建設 株式会社	主任技術者	金高 翔	

表彰区分	所長等表彰	部門	地質調査・測量・調査業務	事務所名	県央県土整備事務所		
業務名	旧大田市西部地区外 2	防交交付金（基礎調査）土砂災害警戒区域等 2 巡目基礎調査業務		受賞者	株式会社 大田技術コンサルタント	技術者表彰	上野 雅大

業務概要

土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律による基礎調査は、同法第4条に基づき、地形改変及び社会条件の変化により土砂災害警戒区域等の見直しが必要な箇所を対象に、概ね5年ごとに実施することとなっている。

本業務では新旧砂防基盤図及び高精度地形情報等を用い、「見直し箇所の抽出」では地形改変の範囲及び保全対象となる人家等の立地状況変化を把握し、これらが変化した箇所を机上抽出して現地確認(簡易現地調査)を行った。「新規箇所の抽出」では地形改変等により新たに土砂災害警戒区域等の地形要件を満たすようになった箇所を机上抽出して現地確認を行った。これらに加えて「対策施設の効果見直し箇所の抽出」を行った。この作業では1巡目基礎調査では対策施設が設置されておりRED区域を指定せずに保留されている箇所に対して、現行基準と照合して「RED区域の指定が必要となる箇所」を全ての区域調書をチェックして抽出した。

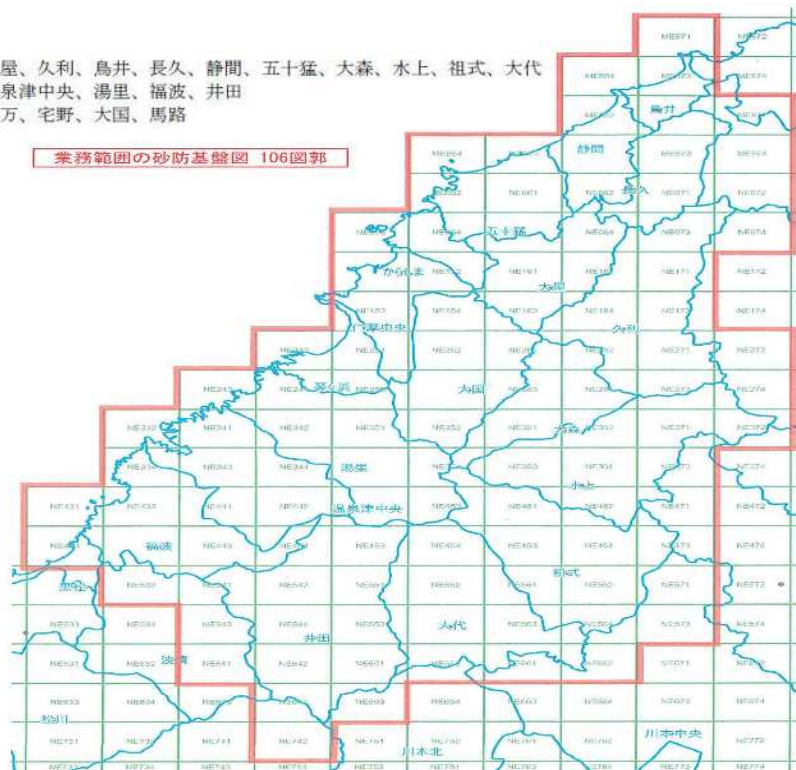
以上の抽出結果(見直し箇所、新規箇所、施設効果の見直し箇所)を整理してとりまとめた。

業務位置

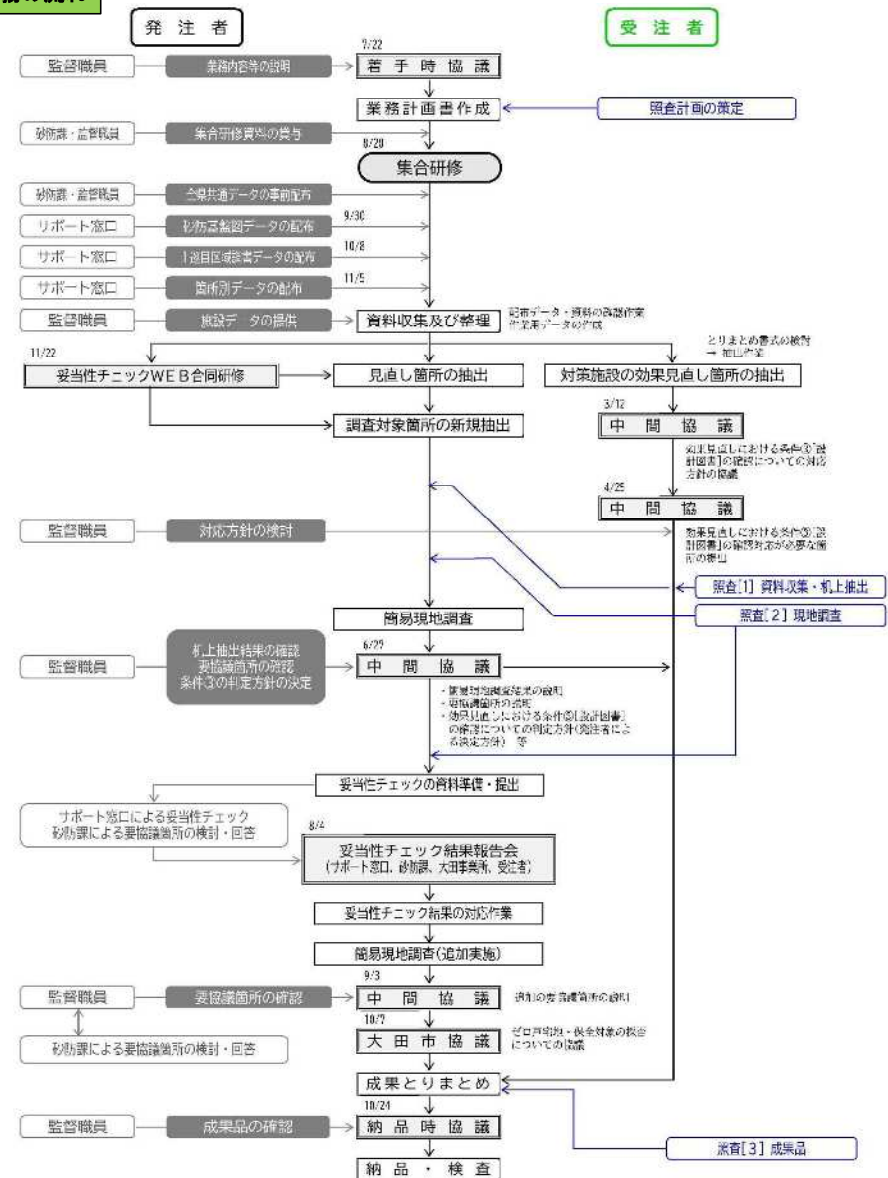
【旧大田市西部】
【温泉津町】
【仁摩町】

大屋、久利、鳥井、長久、静間、五十猛、大森、水上、祖式、大代
温泉津中央、湯里、福波、井田
仁万、宅野、大國、馬路

業務範囲の砂防基盤図 106図郭



業務の流れ



表彰区分	所長等表彰	部門	地質調査・測量・調査業務	事務所名	県央県土整備事務所		
業務名	(主) 温泉津川本線（福光５工区外）土砂災害補助（災害防除）工事用地 調査業務			受賞者	株式会社 西部測量設計	技術者表彰	田原 章

業務概要

本業務は、主要地方道温泉津川本線の内、大田市温泉津町福光地内のF2032A024工区及び大田市温泉津町井田・福田地内のF2032A030工区の2工区において落石対策の災害防除工事を行う為に必要範囲の土地取得する為に、用地測量を行い成果物を作成した。主な数量はそれぞれ合計で用地幅杭設置 $L=0.19\text{km}$ 、境界復元・境界確認等を $A=2.5\text{万m}^2$ を実施し用地図面及び登記用地積測量図計5筆と立竹木調査算定を 3160m^2 になる。

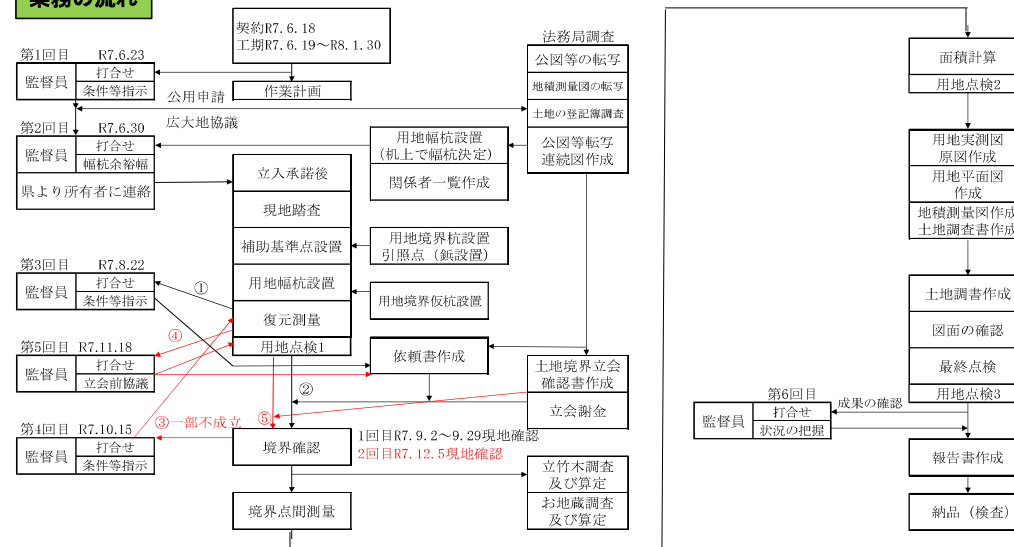
業務位置



業務の成果

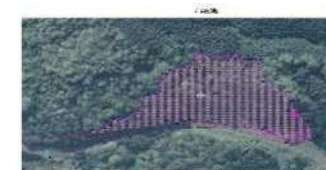


業務の流れ



工程管理及び安全管理

1. 工程管理
各作業において監督職員と随時連絡をとり作業の月末進捗状況を監督職員に報告した
※打合せ協議に添付する。
2. とりまとめ
作成した成果品を仕様書、打合わせ等に添って、成果品をとりまとめた。
3. 情報管理
個人情報管理状況の確認書を双方で確認し個人情報 の流失防止に努めた。
作業完了時に、個人情報関係はシュレッダーにて裁断処理し個人情報の流失防止に努めた。
4. 精度管理
各工程別に作業終了時にすみやかに点検測量を行い精度管理表を作成し精度確保に努めた。
5. 安全管理
1. 現場へは、地権者の了解を得た後に立ち入りをした。
2. 現場内では、保安具（ヘルメット・チョッキ）等を着用し安全に留意した。
3. 駐車場等を県道の走行車両の影響が無い場所に駐車し、苦情もなく作業を完了した。
作業時に、車・歩行者へ注意を促すために測量中の看板を設置した。
ハチ、クマ対策も万全で作業した。
5. 作業にあたっては無事故で作業した。



創意工夫

境界立会の集合場所及び順路を写真に重ねて、関係者に説明するのに使用し、好評だった。左記図はF2032A024工区になる

令和8年度 県央県土整備事務所長 特別表彰

表彰種別	業者名・団体名	選考理由	担当部署
維持管理	(株)須山商事	【県管理施設の維持管理への対応】 当該業者は、平成22年度から長年にわたり、県管理施設の維持管理業務に携わり、その功績は顕著である。 大田市中部の国道375号外8路線の道路や河川・ダム・砂防施設を担当し、緊急時には、昼夜を問わず迅速かつ的確な処置を行い、県管理施設を安全な状態に保つとともに、地域住民の安全な暮らしの確保に寄与した。	大田事業所